

心を作り上げていこうとしているんです。

大橋都心のつくり方を少し変えてみる、みんなの目先を少し変えてみるだけで、きつと良い方向に進んでいくのではないかと思えます。

市長そうですね。これからの高齢社会では、お年寄りも来られるような都心にならなければと思うんですよ。若者と一緒に楽しんで、刺激を受けて元気になる、そして安らぐ場所もある。そんな空間をぜひみんなで力を合わせてつくり上げていきたいと思えます。

大橋それはいいですね。だんだん年を取ると、だれだつて動くことが大変になってきますよね。そうなった時こそ、人はどんな要望にもこたえてくれる、利便性の良い都心を求めると思っています。お年寄りにとっても居心地がいいと思える空間であるのが理想的ですね。

市長そのような都心は、札幌市民だけではなくて、北海道、あるいは日本全国の人たちにとつ

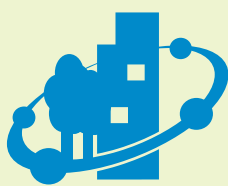


東京・恵比寿ガーデンプレイスで開催される「SAPPORO WEEK in 恵比寿」。毎年コンサートなどの各種イベントを交え、首都圏に札幌の魅力のPRをしています



でも理想ですよ。そして、必ずや外国の人たちにもその魅力は通じ、いろんな人と出会う都心になっていくはずですよ。

とは、豊かな自然はもちろんですが、人の優しさやおおらかさがある街のことであります。また、文化とは学術・芸術という難しいことではなくて、精神的な豊かさのある生活様態や、より質の高い生活の追求、それらを誇りに思う気持ちのことです。これらを凝縮して外に向かつて発信していくのが都心だと思っています。



パートナーシップの 関係を築き世界に 誇れる都心を

市長大橋さんは、私生活では北海道赤平市出身の作曲家・佐藤健さんとすてきなパートナー関係を築いているということですが。

大橋デビュー前、音楽の仕事を通じて知り合いました。気がつくのと、一緒に暮らし始めてもう二十九年ぐらいたってました。その間に、結婚

